

再び「スタッフの QOL 向上」について

私達の仕事は「介護」です。そしてその介護とは「生活リハ」です。
その生活リハは利用者のそれぞれの皆さんが「安心と満足」を感じてくれる介護です。

もし私達が提供する介護がスタッフの犠牲のもとに提供されるとしたら、利用者の皆さんは決して満足しないし安心もしてくれないでしょう。利用者の希望をすべて満たすことが満足につながる訳でもありません。

スタッフも楽しみながら利用者も気楽にわがままも言える、そんな雰囲気があって初めて満足は生まれるでしょう。

そしてそれが老健の使命である、自立支援マインド、在宅復帰支援マインドを醸し出す本来の介護につながることでしょう。

最近腰痛を訴えるスタッフが多いと聞きます。

介護によってスタッフが体を壊してしまうようでは、決して利用者の皆さんも喜んではくれません。現有スタッフ数でも壊さないやり方を原点から見直すチャンスではないでしょうか。スタッフ全員の知恵を出し合ってより良い介護を考えるチャンスです。現状の介護の量も質も一から考え直して良いと思います。

そして、腰痛予防対策チームを作ってその牽引役で中心の役割を担って頂きたいと思っています。

スタッフとは介護職だけではなく看護職もリハ職も薬剤・栄養・事務・相談員・ケアマネ等すべてのスタッフが介護に係わる他職種協働の職場です。

それぞれの立場から介護業務に従事している訳ですので、それぞれの立場から意見を出し合って見方・考え方・やり方を共有することが大事です。

そして、もちろん意見はばらばらで良いのですが、まとめるときは一つに絞らなければなりません。一旦決まった目標は皆で同じ方向を向くことが大事です。その前提で大いに意見を出し合い、話し合いましょう。

話合いの3原則：

- ①相手の意見は決して否定しないでしっかり聞く。
- ②自分の意見はしっかり言う。
- ③正解は一つではないことを自覚して自制する。